

活動紹介!

東久留米ニューハーモニー

東久留米ニューハーモニーはカラオケのサークルです。会館での活動は22年程になります。東久留米市賀陽連盟に所属し、年3回、7月、9月、11月に、市のまろにえホールで他の団体と合同で発表会を行っています。

活動の流れは、前半、全員で課題曲を歌い、後半は、各自の得意な持ち歌を順に歌い、それらをひと月毎に仕上げていきます。コロナウィルスによる感染状況が落ち着き、活発な活動が戻ってきました。



3月の催しから



- 2(土)
ヒガクルフェス東久留米 2024
- 3(日)
おたまじゃくしリトミック発表会
- 9(土)
日本ユーフォニアム・
チューバ協会コンサート 
- 16(土)
・矢部ピア / 教室発表会
・Swingin' Paradise
Jazz Orchestra 
- 17(日)
・北多摩二区詩吟発表会
・くるめ.ザ.コメディ上映会 
- 20(水)
小堤ピア / 教室発表会
- 23(土)
ぴゅあとーんピア / 教室発表会
- 24(木)
夢わかぼコンサート
- 30(土)
中村ピア / 教室発表会 
- 31(日)
戸田バイオリン教室発表会

これらはあくまでも予定ですので変更もございます。一般の方の参加の可否等、詳細は主催者までお尋ねください。



会館事務室から



今月の話題 — 伝統工芸品

伝統工芸品とは、一定の条件を満たした上で、法に基づく経済産業大臣の指定を受けた工芸品のことです。2023年10月の時点で241点が指定されています。能登半島の輪島地方でつくられている漆器、輪島塗もその一つです。

輪島塗は、輪島地方特産の地の粉とよばれる珪藻土を焼いた粉末を漆に混ぜたり、木地に漆を吸わせた布を貼ったりして丈夫にする独特の製法が指定を受けた大きな理由です。

どの伝統工芸品をとっても、その風合いが日本人の美意識によく合い、日々の暮らしにもよく溶け込み、心に潤いとゆとりを与えてくれるものばかりです。いつまでもそこにあり続けて欲しいと思わせる魅力を感じます。しかし、その裏側では一様に需要の減少や製造にかかわる後継者の減少という厳しい課題に直面し続けています。行政も様々な支援策を講じて保護・育成をしていますが、その将来は決して明るいものではありません。何とか当事者の方々の懸命の努力に頼っているというのが現状です。

そういう中で起きた今年1月1日の能登半島地震。多くの輪島塗の工房が被害を受け、職人の方々もあちこちへ避難されました。元のようになるまでにはかなりの時間が見込まれます。政府は早速、仮設工房の整備費の補助を決めたそうです。被災者の方々へお見舞い申し上げるとともに、伝統工芸、輪島塗の1日も早い復活お祈りするばかりです。

